

令和6年度



(2024年5月21日～2025年5月20日)

環境経営レポート



舟町工場

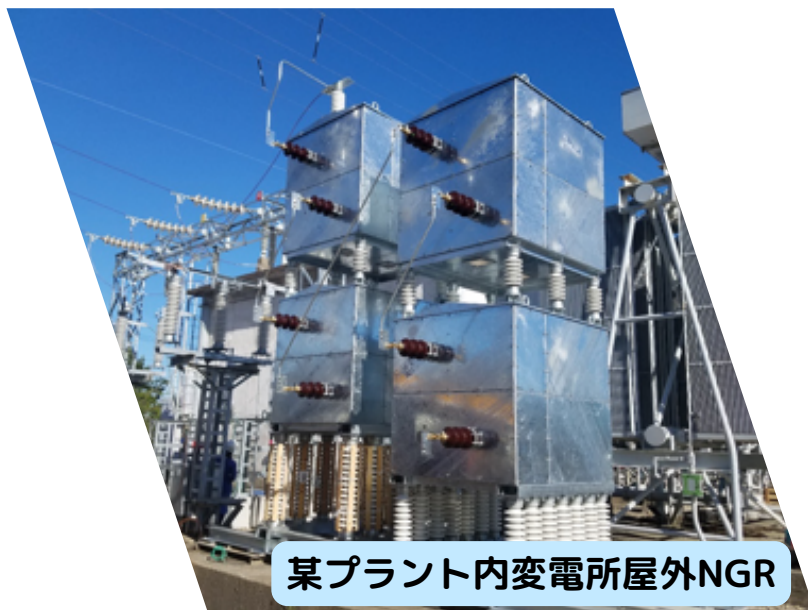
本社工場

岡垣工場

2025年9月5日
株式会社 ニシテイ



目次



- | | | | |
|-----------|-----------------------------|-----------|------------------|
| 01 | 事業活動の概要 | 02 | ニシテイの組織図 |
| 03 | 環境保全推進組織と役割分担 | 04 | 環境経営方針 |
| 05 | 環境目標とその実績・令和6年度主要な環境活動計画の内容 | 06 | 環境活動の取組結果の評価 |
| 07 | 令和7年度の主要な環境活動計画 | 08 | 環境関連法規への違反、訴訟の有無 |
| 09 | 代表者による全体評価と見直し | 10 | 環境活動・緊急事態訓練報告の紹介 |

1.事業活動の概要

事業社名及び代表者名

株式会社 ニシテイ

代表取締役社長 三藤 健二郎

所在地

本社・工場 北九州市八幡西区紅梅2-1-1

舟町工場 北九州市八幡西区舟町3-9

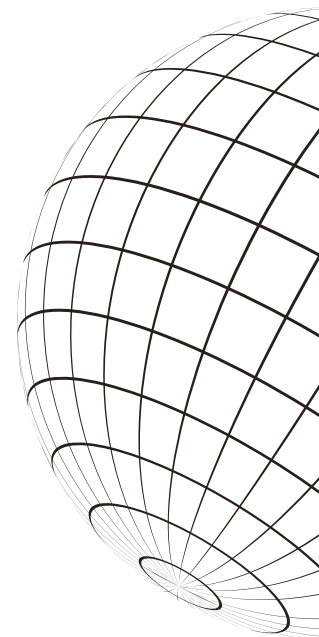
岡垣工場 福岡県遠賀郡岡垣町大字糠塚字黒石277-1

大阪営業所 大阪市淀川区西中島6-2-3

東京営業所 埼玉県所沢市東所沢1-28-23

事業の内容

- ① 抵抗器・スペースヒータ及び産業用電源品質対策用機器の開発・設計・製造・販売
- ② 電機・機械部品の加工
- ③ ロボット部品の組立
- ④ リアクトル・変圧器の販売



事業の規模

| 活動規模 | 単位 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------|----------------|-------|-------|-------|
| 売上高 | 百万円 | 1,395 | 1,570 | 1,513 |
| 従業員 | 人 | 110 | 109 | 108 |
| 床面積 | m ² | 6,382 | 6,382 | 6,382 |

対象範囲

- ① 対象事業所：全事業所
- ② 対象事業活動： 全事業活動

環境保全関係の責任者

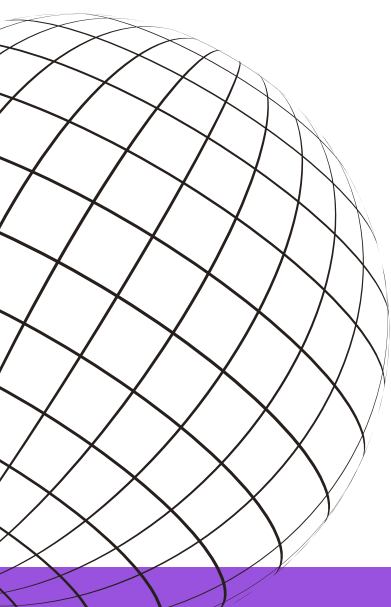
環境管理責任者 製造本部 部長 兼 木戸 智章
岡垣工場 工場長

事務局氏名 岡垣工場 組立課 秋武 稔
課長

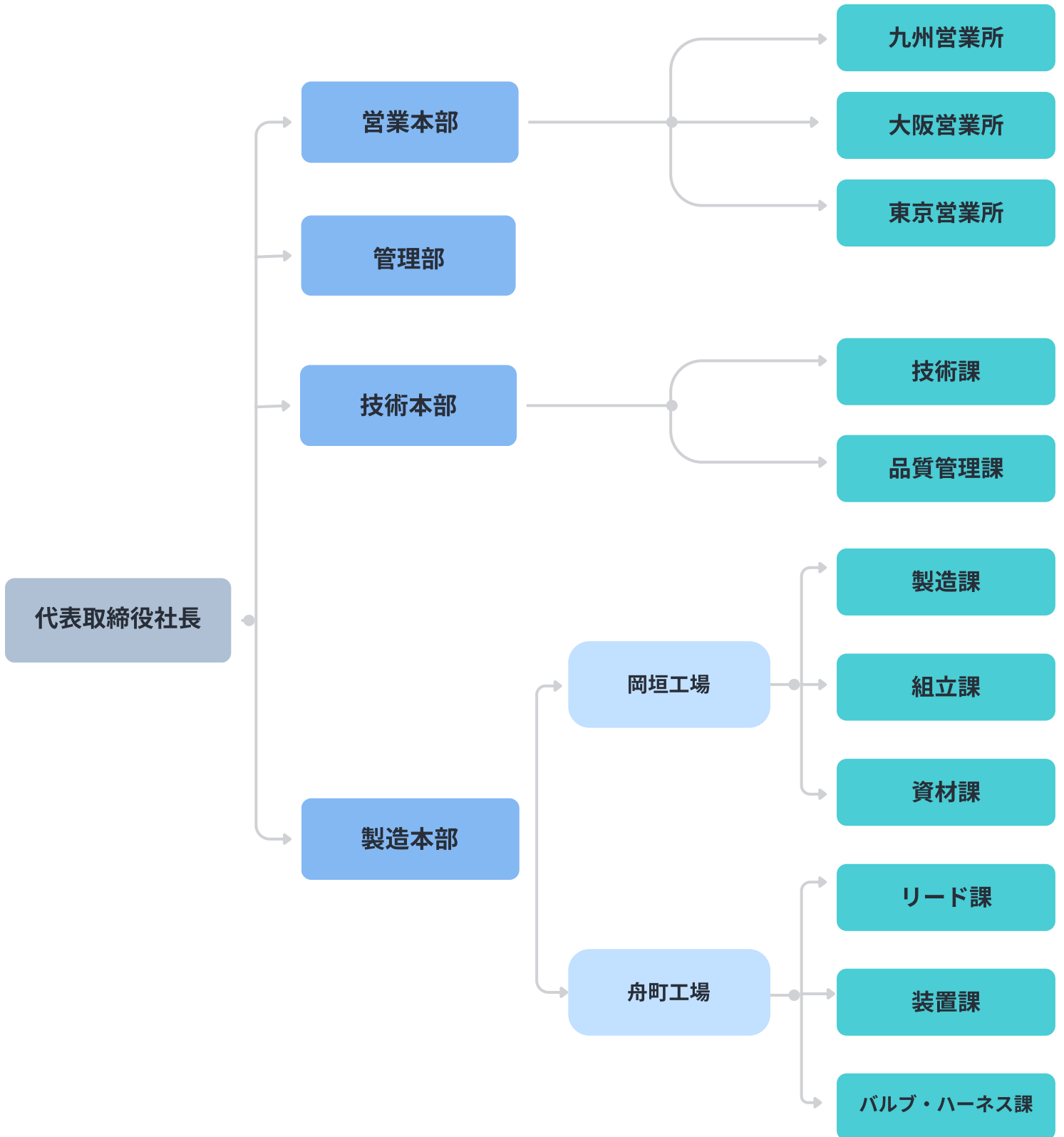
連絡先 TEL 093-282-7270

FAX 093-282-7271

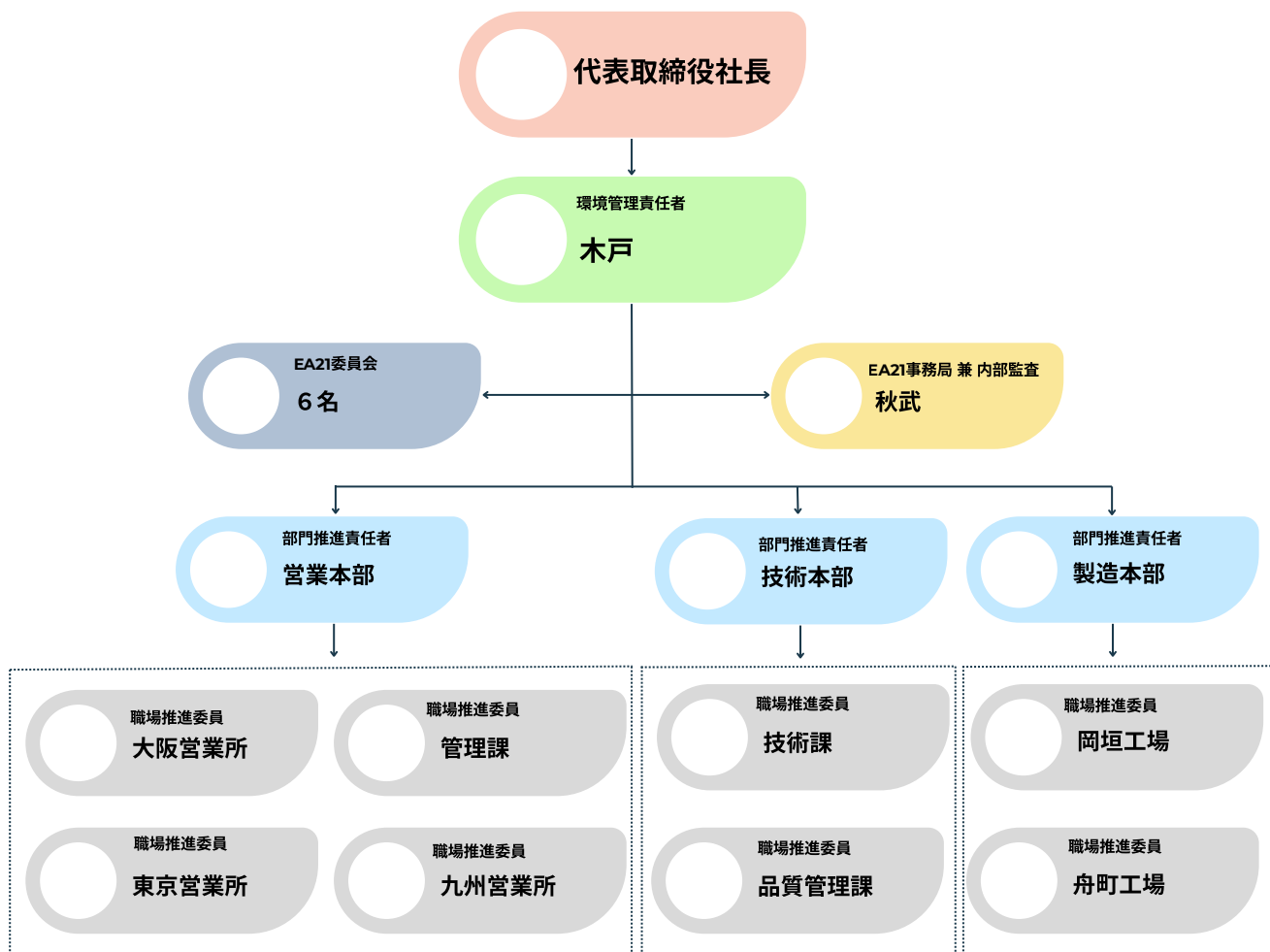
E-mail akitake@nishitei.co.jp



2.ニシテイの組織図



3. 環境保全推進組織と役割分担



役割分担

| 氏名 | 所属 | 役割・責任・権限 |
|--------|---------|---|
| 三藤 健二郎 | 代表取締役社長 | 全体総括、環境方針の設定、環境管理責任者の任命、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し |
| 木戸 智章 | 環境管理責任者 | 全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する |
| 各委員 | EA21委員会 | 最低1年に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する |
| 事務局 | EA21事務局 | E A 2 1 文書及び記録類の作成・管理・情報開示 |
| 各部門長 | 部門推進責任者 | 各部門における環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を管理 |
| 各推進委員 | 職場推進委員 | 各職場における環境目標の達成状況及び活動計画の具体案の掲示と管理 |

4.環境経営方針

環境経営方針

環境理念

株式会社 ニシテイは、抵抗器の開発・製造及びロボット関連製品の組立を主とした事業活動を行うなかで、地球環境を将来にわたり守って行かなければならないとの認識に立ち、環境保全活動を技術的・経済的に可能な範囲で推進し、環境経営の改善に努めます。

環境行動指針

- 1・環境負荷の低減を目的とし、次の項目を継続的かつ、重点的に取り組みます。
 - (1)省エネ(電気・燃料)による二酸化炭素排出量の削減
 - (2)廃棄物排出量の削減
 - (3)水の使用量の削減
- 2・力率改善用機器等の開発・販売を行い、環境に配慮した製品の提案に努めます。
- 3・環境負荷低減に伴った、生産性の向上に努力いたします。
- 4・環境関連法令及び当社が同意したした各種協定等を順守いたします。
- 5・環境方針はすべての従業員に周知徹底します。
- 6・環境経営レポートを作成し、環境状況を公表します。

制定 平成20年10月21日

改定 令和4年5月21日



株式会社 ニシテイ

代表取締役社長

三藤 健二郎

5.環境目標とその実績

今年度の目標

平成30年度の実績をベースに3カ年の目標を設定した。

※2

| 項目 | | 単位 | 平成30年度 | 目標 | | |
|-----------|-----------------|---------------------|-------------------|----------------|--------------|----------------|
| | | | 実績 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 二酸化炭素排出量 | | kg-CO2 | 169,768 | 162,978 | 161,280 | 159,582 |
| | | kg-CO2/百万円 | 104.5 | 100.3 | 99.2 | 98.2 |
| 電力 | 本社、舟町、岡垣 | kWh | 357,915 | 343,598 | 340,019 | 336,440 |
| | 東京営業所 | kWh | 12,156 | 11,670 | 11,548 | 11,427 |
| | 大阪営業所 | kWh | 5,306 | 5,094 | 5,041 | 4,988 |
| | 全社 | kWh | 375,377 | 360,362 | 356,608 | 352,854 |
| | | kWh/百万円 | 231 | 222 | 219 | 217 |
| ガソリン | | ℓ | 11,182 | 10,735 | 10,623 | 10,511 |
| | | ℓ/百万円 | 6.88 | 6.61 | 6.54 | 6.47 |
| 軽油 | | ℓ | 3,637 | 3,492 | 3,455 | 3,419 |
| | | ℓ/百万円 | 2.24 | 2.15 | 2.13 | 2.10 |
| 廃棄物 | 一般廃棄物 | kg | 2,328 | 2,235 | 2,212 | 2,188 |
| | | kg/百万円 | 1.43 | 1.38 | 1.36 | 1.35 |
| | 産業廃棄物 | kg | - ※1 | 1,610 | 1,594 | 1,578 |
| | | kg/百万円 | - | 1.08 | 1.07 | 1.06 |
| | リサイクル回収品 (率) | kg % | - -% | 5,883 53.5% | 5,995 54% | 6,051 54.5% |
| 化学物質使用量 | | - | 適正な取り扱い及び処理・処分を行う | | | |
| 水使用量 | | m ³ | 1,829 | 1,765 | 1,756 | 1,747 |
| | | m ³ /百万円 | 1.13 | 1.09 | 1.08 | 1.07 |
| 生産性向上 | | 円/h | ¥9,007 | ¥9,367 | ¥9,457 | ¥9,547 |
| 環境配慮製品の提案 | | 件 | - | 5 | 6 | 7 |
| 地域の環境美化 | | - | 会社周辺の環境美化活動を推進する | | | |

(購入電力排出係数：九州電力 0.347 kg-CO₂/kWh)

(購入電力排出係数：中部電力 0.452 kg-CO₂/kWh)

(購入電力排出係数：東京電力 0.455 kg-CO₂/kWh)

※1・R1年度より算出方法の見直しにより、R3年度廃棄物排出量を100%として算出
(総排出量 11,205.7kg で算出)

※2・通年だと基準値はR3年度だが、R1~3年度は臨時休業日がある為 基準値はH30年度で継続

令和6年度主要な環境活動計画

二酸化炭素排出量削減のための取組（活動期間を通じて実施）

(1)電気使用量の6%削減

- ①ブラインドを使って遮光や空気の層で冷暖房効率化を図る
（本社、東京・大阪営業所）
- ②冷暖房使用時はパーティションを利用し、冷暖房の効率化を図る（岡垣工場）
- ③冷暖房使用時はシャッターを出荷以外は10分以上開けない（舟町・岡垣工場）
- ④終業時、空調及び照明、パソコン等の消し忘れがないか確認する（全社）
- ⑤寮から出るときは、空調及び照明の消し忘れがないか確認する
（東京・大阪営業所）

(2)ガソリン・軽油使用量の6%削減

- ①工場間で連携して、集荷の委託やまとめ出荷を行う（舟町・岡垣工場）
- ②小さな荷物はトラックではなく、燃費が良いバンを使用する（岡垣工場）
- ③渋滞する時間とルート調べ、渋滞待ちのリスクを避ける
（本社、東京営業所）

廃棄物排出量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

(1)一般ゴミの排出量抑制

- ①紙ゴミを一般ゴミではなくリサイクル業者に依頼する
（本社・舟町工場・岡垣工場）
- ②過剰梱包の廃止や簡易梱包の推進を取引先と交渉する（舟町工場）
- ③エアパッキン等の梱包材は自社製品梱包時に再利用する（岡垣工場）

水使用量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

(1)水使用量の6%削減

- ①手洗い時は水を出したままにしない（全社）
- ②冷却水の流量を10%DOWNさせる（岡垣工場）

生産性の向上のための取組（活動期間を通じて実施）

(1)作業効率を6%上げる

- ①他部署との連携を図り、定時内応援や前工程待ち削減を行い、時間外勤務を減らす（舟町工場・岡垣工場）

環境配慮設計の実施（活動期間を通じて実施）

(1)環境配慮をした製品をお客様に提案する

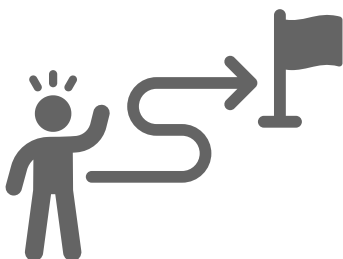
- ①力率改善製品をお客様に提案する（各営業所）

化学物質使用量の取組（活動期間を通じて実施）

- ①使用時はマスク着用など、適切な取り扱いを行う（舟町工場・岡垣工場）

地域の環境美化活動への取組

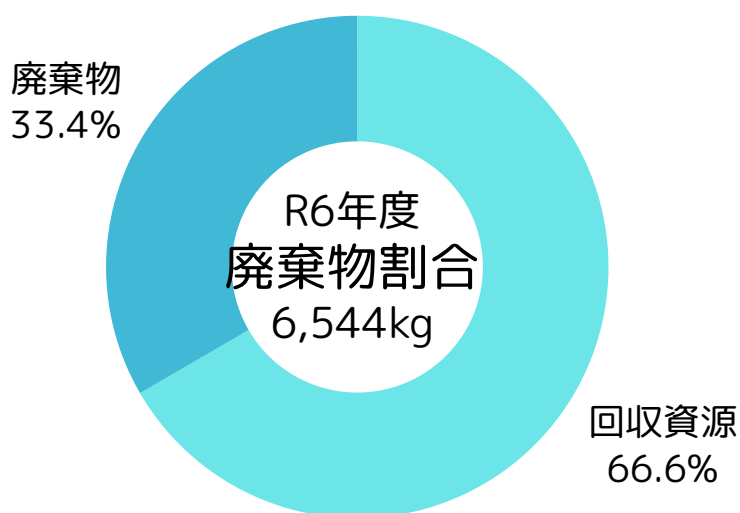
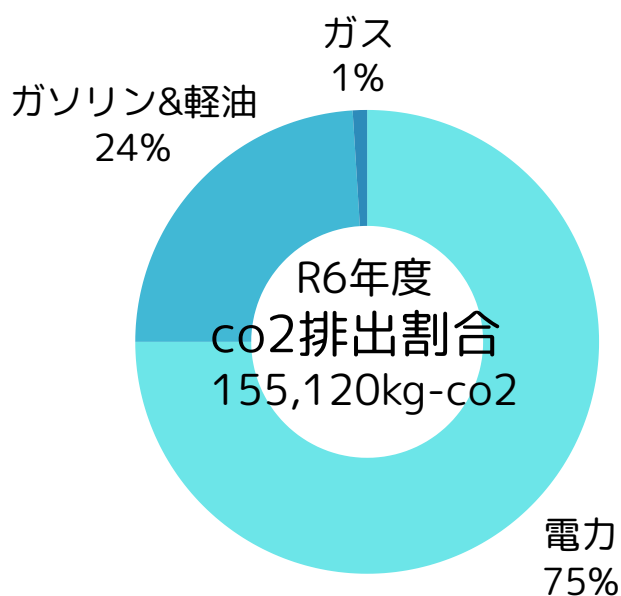
- ①敷地内に花の苗植えを（舟町工場）
- ②工場内全従業員で工場内の草刈りを行う（岡垣工場）
- ③工場周辺の草刈り作業を行う（岡垣工場）



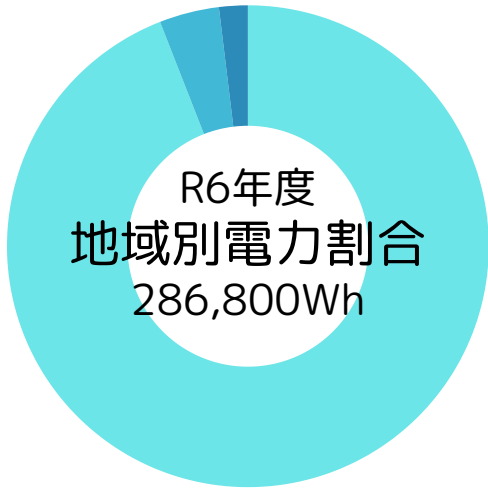
6.環境活動取組結果の評価

令和6年度の目標に対する実績は下記のとおりであった。

| 項目 | 単位 | 平成30年度 | 令和6年度 | | 達成率 | 達成状況 | |
|-----------|---------------------|---------|---------|--------------|--------------|-----------|--------|
| | | 実績 | 目標 | 実績 | | | |
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO2 | 169,768 | 159,582 | 155,120 | 102% | × | |
| | kg-CO2/百万円 | 104.5 | 98.2 | 102 | 96% | | |
| 電力 | 本社、舟町、岡垣 | kWh | 1357,95 | 336,440 | 271,021 | 124% | ○ |
| | 東京営業所 | kWh | 12,156 | 11,427 | 10,666 | 107% | ○ |
| | 大阪営業所 | kWh | 5,306 | 4,988 | 5,118 | 97% | × |
| | 全社 | kWh | 375,377 | 352,854 | 286,800 | 123% | ○ |
| | | kWh/百万円 | 231 | 217 | 175.61 | 124% | ○ |
| ガソリン | ℓ | 11,182 | 10,511 | 7,882 | 133% | ○ | |
| | ℓ/百万円 | 6.88 | 6.47 | 5.21 | 124% | ○ | |
| 軽油 | ℓ | 3,637 | 3,419 | 2,563 | 133% | ○ | |
| | ℓ/百万円 | 2.24 | 2.1 | 1.69 | 124% | ○ | |
| 廃棄物 | 一般廃棄物 | kg | 2,328 | 2,188 | 1284 | 170% | ○ |
| | | kg/百万円 | 1.43 | 1.35 | 0.84 | 161% | ○ |
| | 産業廃棄物 | kg | — | 1,578 | 290 | 544% | ○ |
| | | kg/百万円 | — | 1.06 | 0.2 | 530% | ○ |
| | リサイクル回収品 (率) | kg % | — — | 5,800 54% | 4,360 67% | — 124% | — ○ |
| 水使用量 | m ³ | 1,829 | 1,747 | 1,303 | 134% | ○ | |
| | m ³ /百万円 | 1.13 | 1.07 | 0.86 | 124% | ○ | |
| 生産性向上 | 円/hr | ¥9,007 | ¥9,547 | ¥12,570 | 132% | ○ | |
| 環境配慮設計の実施 | 件 | 1 | 7 | 102 | 1457% | ○ | |
| 売上 | 百万円 | 1,625 | — | 1,513 | — | — | |

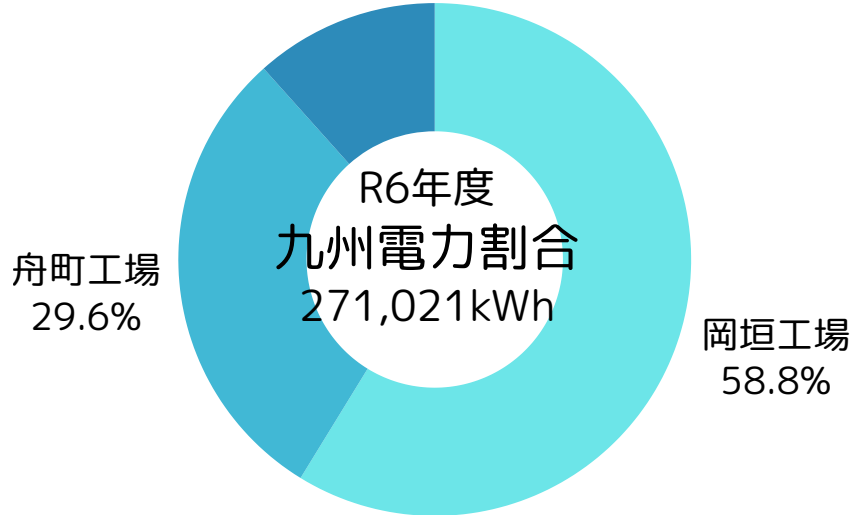


東京
4%



九州
94.1%

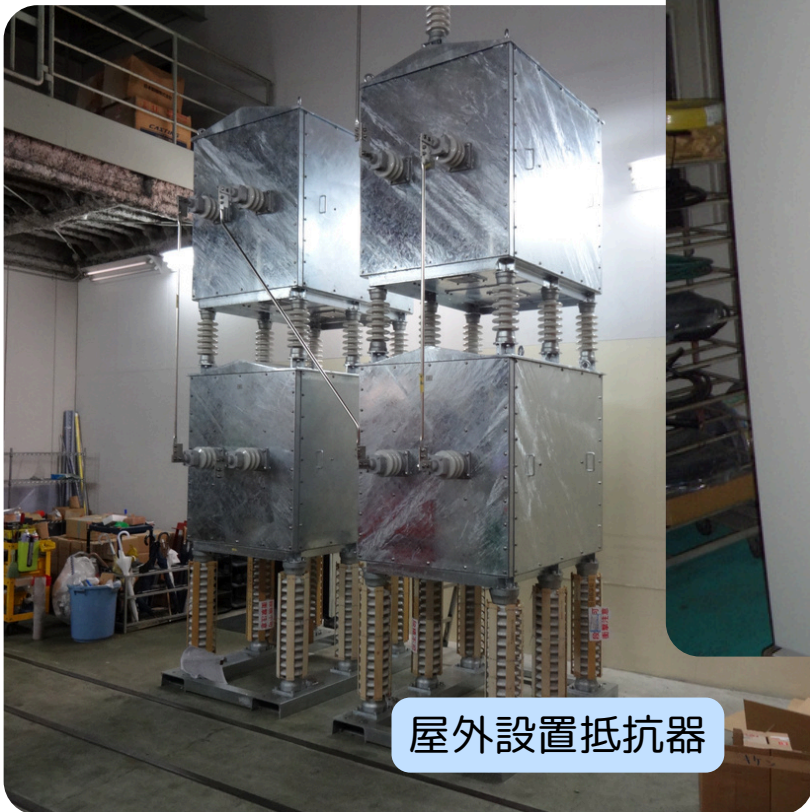
本社工場
11.6%



岡垣工場
58.8%



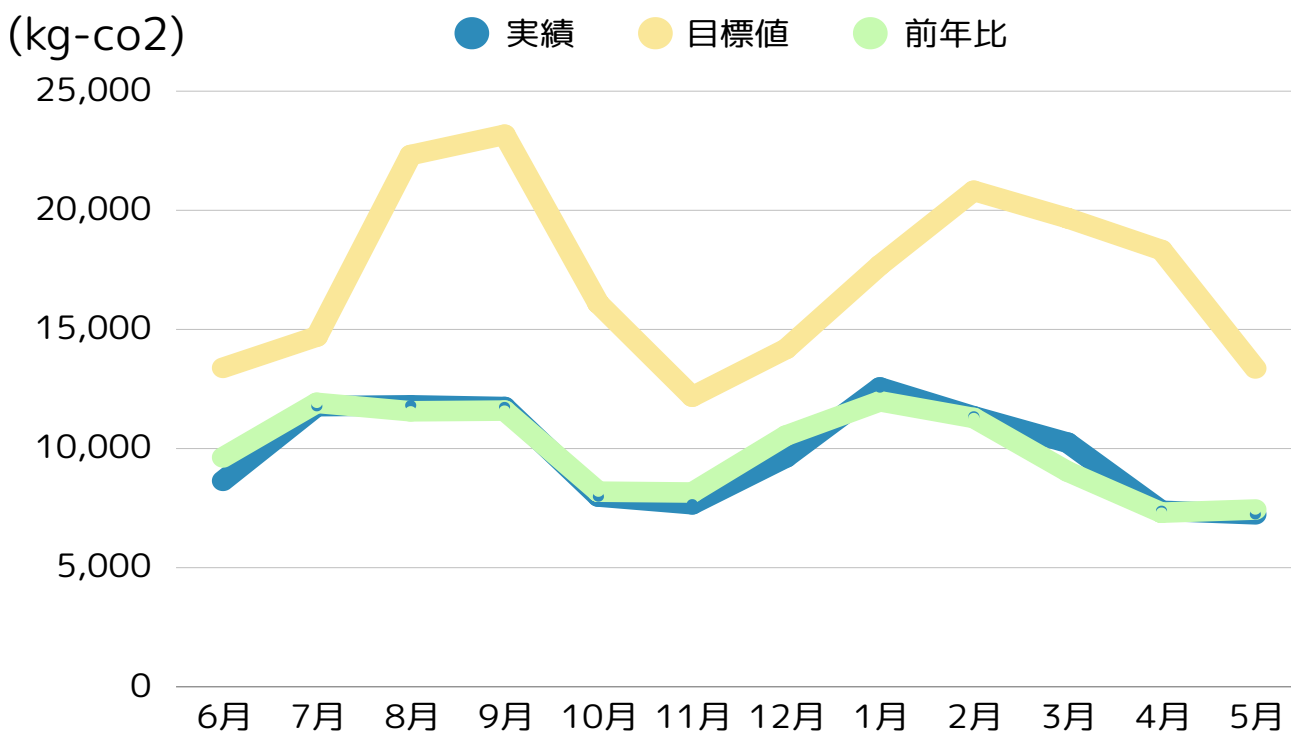
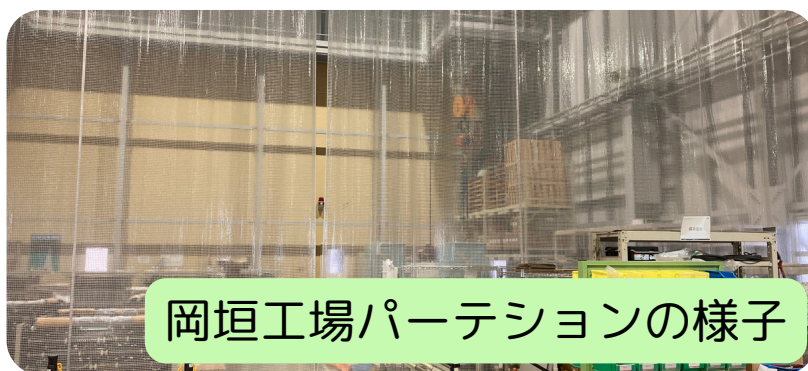
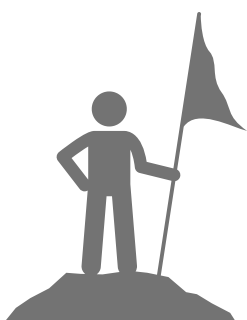
製品例紹介



二酸化炭素排出量の削減

当社の二酸化炭素排出量につきましては、前年度と比較して約2%の削減となり、排出量としては削減を達成する結果となりました。排出の大きな要因は電力の使用であり、その削減が全体の成果に寄与しています。特に、本社工場における通電試験の効率化などにより、工場内の消費電力を削減することができました。さらに、運送・配送における効率化の取り組みにより、ガソリンや軽油の使用量削減にも一定の成果が見られました。

一方で、売上の減少により原単位評価では実績値が96%となり、目標に対して4%の未達という結果となりました。また、大阪営業所における消費電力削減につきましては、昨年度と比較して改善は見られるものの、目標には今一步届かない状況です。今後は、より効果的な対策を検討・実施し、全社的な削減目標の達成に向けて継続的に取り組んでまいります。

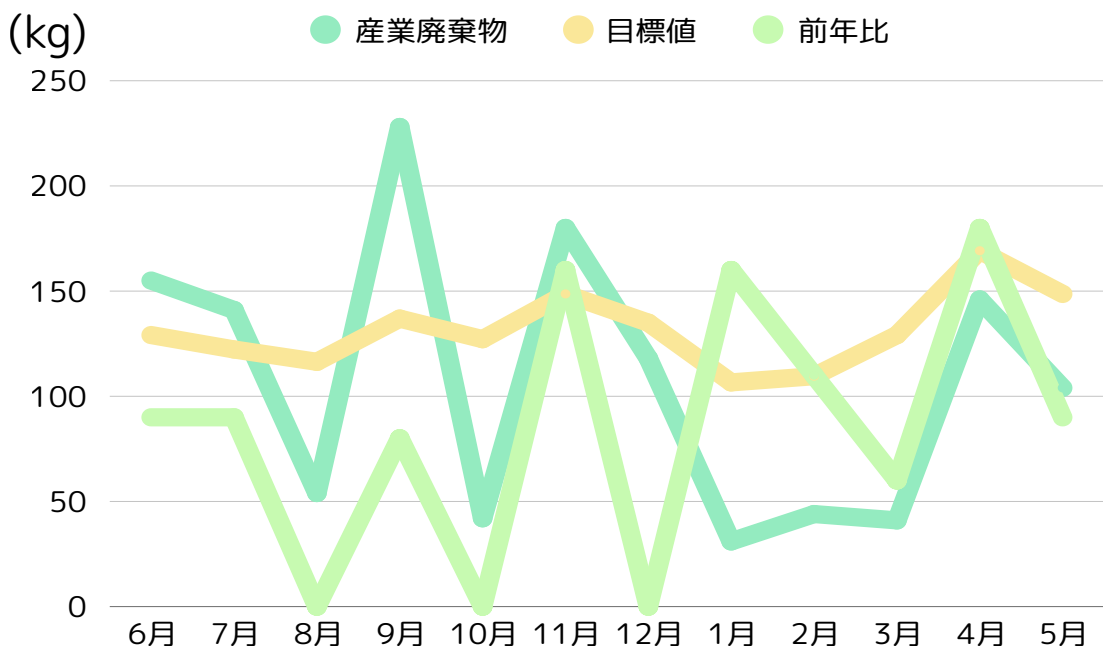


廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量に関しては、一般廃棄物の分別を意識し、全従業員が一丸となって梱包材の再利用や紙資源・段ボール資源の分別強化に取り組みました。その結果、目標に対して400%以上という非常に高い達成率を記録し、大きな成果を上げることができました。

また、産業廃棄物についても、目標達成率は544%となり、目標を大きく上回る結果となりました。これは、従来廃棄していた梱包材を再利用可能な業者へ直接持ち込み、再利用してもらえる体制を構築したことに加え、過剰梱包で納品されていた部材についてメーカーと交渉を行い、梱包仕様を必要最低限に見直したことが主な要因です。

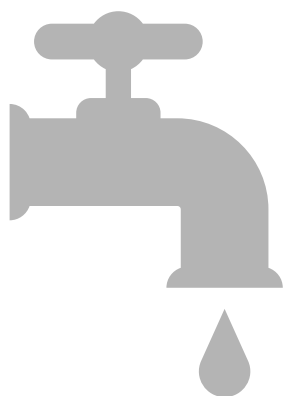
これらの取り組みにより、産業廃棄物の排出抑制と資源の有効活用が進み、環境負荷低減に大きく貢献する成果を得ることができました。



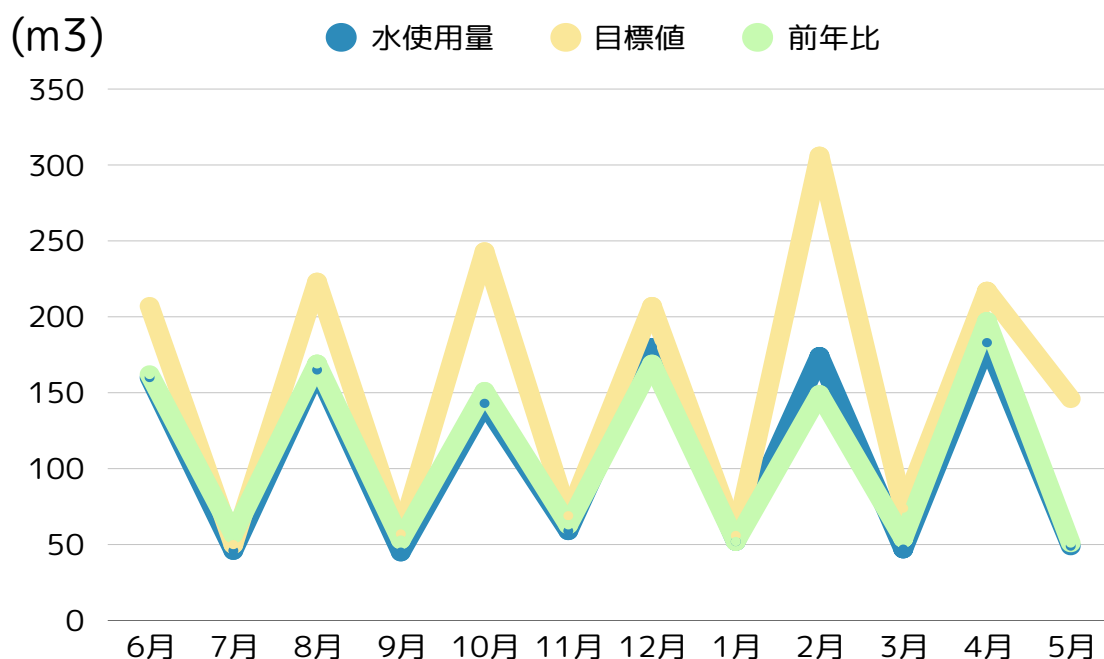
水使用量の削減

水使用量につきましては、これまで本社・舟町工場・東京営業所の3拠点では水道検針が2ヶ月に一度であったため平均値での管理を行っていましたが、今回より実績値での管理へ移行いたしました。前年度との比較ではほぼ横ばいでしたが、目標に対しては134%を達成しており、日頃から全従業員が節水を意識して取り組んできた成果といえます。

一方で、使用量自体は依然として大きな変動が見られないため、今後はさらなる節水効果を得るための新たな取り組みが必要です。



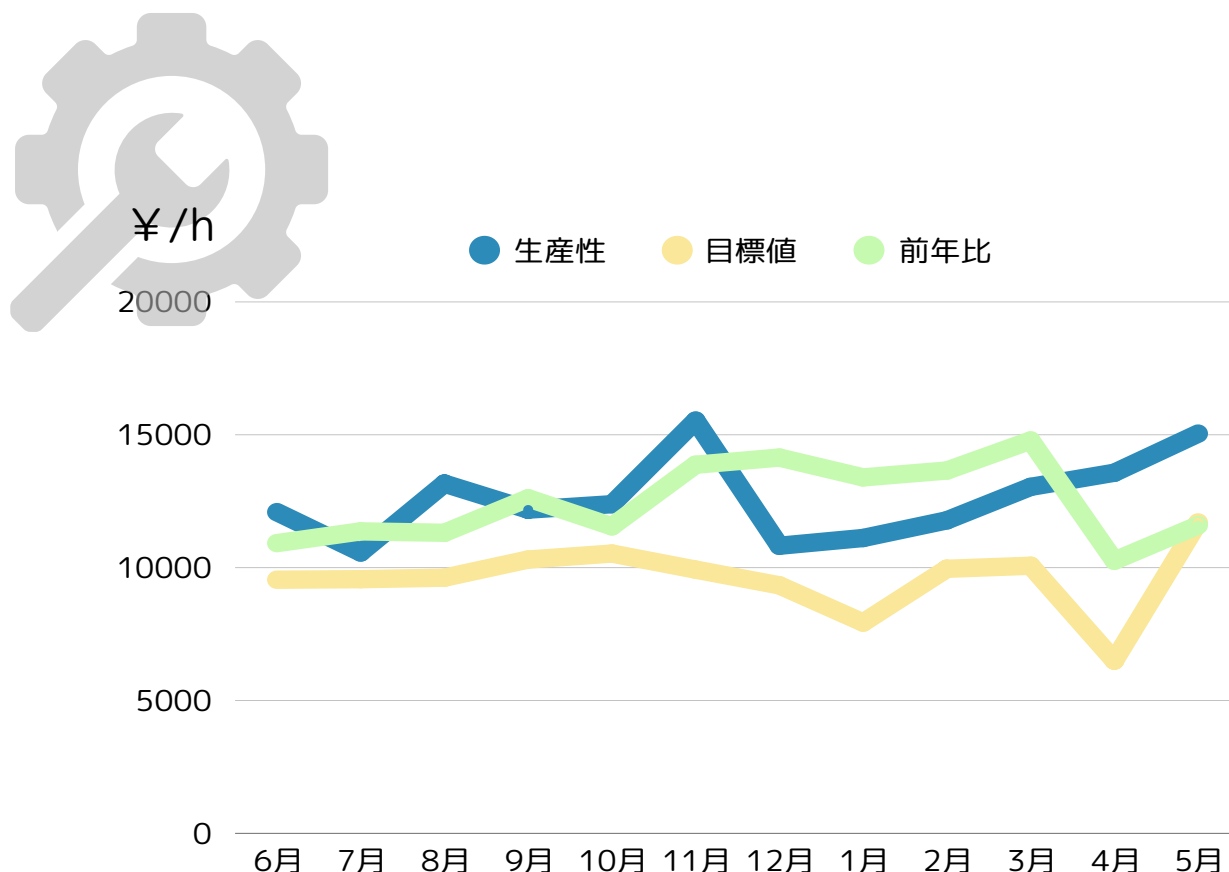
節水表記



生産性の向上

生産性の向上につきましては、目標に対して132%の達成率を記録し、前年度に引き続き効率の改善が進んでおります。残業時間の大幅な削減を実現しつつも、生産効率を高い水準で維持できている点は大きな成果です。

今後は、さらなる業務効率化と時間管理の徹底を図りながら、持続的に高い生産性を維持できる体制の強化に取り組むことが期待されます。



環境配慮の実施

新しい目標への変更や集計方法の見直しを行った中で、想定以上に多くの提案・販売を実現し、目標を達成することができました。これは、全体としての取り組みが成果につながったものであり、高く評価できる結果です。

今後は、さらに高い水準を目指すため、来期においては目標値を一層引き上げ、継続的な成長と成果拡大に向けた取り組みが求められます。



7. 令和7年度の主要な環境活動計画

令和7年度主要な環境活動計画

二酸化炭素排出量削減のための取組（活動期間を通じて実施）

(1) 電気使用量の1%削減

- ① ブラインドを使って遮光や空気の層で冷暖房効率化を図る
（本社、東京・大阪営業所）
- ② 設備機械の稼働状況を確認し、10分以上稼働しないものは電源を切る
（舟町・岡垣工場）
- ③ 冷暖房使用時はシャッターを出荷以外は10分以上開けない
（舟町・岡垣工場）
- ④ 終業時、空調及び照明、パソコン等の消し忘れがないか確認する（全社）
- ⑤ 寮から出るときは、空調及び照明の消し忘れがないか確認する
（東京・大阪営業所）

(2) ガソリン・軽油使用量の1%削減

- ① 工場間で連携して、集荷の委託やまとめ出荷を行う（舟町・岡垣工場）
- ② 小さな荷物はトラックではなく、燃費が良いバンを使用する（岡垣工場）
- ③ 渋滞する時間とルート調べ、渋滞待ちのリスクを避ける
（本社、東京営業所）

廃棄物排出量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

(1) 一般ゴミの排出量抑制

- ① 紙ゴミを一般ゴミではなくリサイクル業者に依頼する
（本社・舟町工場・岡垣工場）
- ② 過剰梱包の廃止や簡易梱包の推進を取引先と交渉する（舟町工場）
- ③ エアパッキン等の梱包材は自社製品梱包時に再利用する（岡垣工場）



水使用量の削減のための取組（活動期間を通じて実施）

(1)水使用量の1%削減

- ①手洗い時は水を出したままにしない（全社）
- ②スポット溶接機の冷却水を循環式に変更を検討する（岡垣工場）

生産性の向上のための取組（活動期間を通じて実施）

(1)作業効率を1%上げる

- ①他部署との連携を図り、定時内応援や前工程待ち削減を行い、時間外勤務を減らす（舟町工場・岡垣工場）

環境配慮設計の実施（活動期間を通じて実施）

(1)環境配慮をした製品をお客様に提案する

- ①力率改善製品をお客様に提案する（各営業所）

化学物質使用量の取組（活動期間を通じて実施）

- ①使用時はマスク着用など、適切な取り扱いを行う（舟町工場・岡垣工場）

地域の環境美化活動への取組

- ①敷地内に花の苗植えを（舟町工場）
- ②工場内全従業員で工場内の草刈りを行う（岡垣工場）
- ③工場周辺の草刈り作業を行う（岡垣工場）



8.環境関連法規への違反訴訟の有無

環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規は次の通り

- ・ 廃棄物処理法 ・ 騒音、振動規制法 ・ 消防法
- ・ フロン排出抑制法 ・ RoHS指令

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
また、関係機関等からの指摘や利害関係者からの訴訟もありません



製品紹介欄



9.代表者による全体評価と見直し

全体評価

今年度の目標は概ね達成することができ、特に廃棄物削減および再利用活動において大きな成果が見られました。梱包材の再利用や分別の徹底に全従業員が一丸となって取り組んだ結果、一般廃棄物の削減に大きく貢献することができ、従業員一人ひとりの環境意識向上の成果が明確に表れています。

さらに、工場内では家庭から不要となった衣類を回収し、油污れの拭き取り用ウエスとして再利用するなど、自主的なエコ活動も積極的に行われており、環境配慮の取り組みが現場レベルで着実に定着してきている点は高く評価できます。

また、産業廃棄物については、従来廃棄していた梱包材を再利用可能な業者へ直接持ち込み、再利用してもらえる体制を構築したことに加え、過剰梱包で納品されていた部材についてメーカーと交渉を行い、梱包仕様を必要最低限に見直した結果、目標達成率 544% と、目標を大きく上回る成果を上げることができました。

一方で、大阪営業所における電力使用量については目標未達となったものの、使用量自体は減少傾向を示しており、改善の兆しが見えております。今後は、これまでの成果を継続・発展させるとともに、電力使用量削減に向けた取り組みについても一層の強化を図り、より高い環境目標の達成を目指してまいります。

見直し・指示

1. 産業廃棄物の削減強化
 - 分別ルールの再徹底
 - 再利用可能資材の積極的な活用
 - 発生要因の分析と具体的な対策立案
2. 電力使用量の削減推進
 - 節電意識向上のための周知・教育活動の実施

これらの取組みを次年度に向けて計画的に推進し、全社的な環境目標の確実な達成を図るようお願いいたします。

10.環境活動・緊急事態訓練報告 の紹介



岡垣工場周辺の清掃活動の様子

年2回実施

舟町工場周辺の花壇の様子



連絡先

株式会社ニシテイ
福岡県北九州市八幡西区紅梅2丁目1番1号
TEL:093-631-4131
FAX:093-641-0763